



ENERGY
OF PEACE
元氣、美味しい、
暮らしやすい
ひろしま

資料提供

令和6年7月29日

課名：平和推進プロジェクト・チーム
(へいわ創造機構ひろしま事務局)

担当者：山本

内線：2365

直通電話：082-513-2368

「ひろしまウォッチ」の記者発表を行います

記者発表日時：8月5日(月)15:00~16:00

記者発表会場：(公社)日本外国特派員協会 (FCCJ)

(東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル5階)

広島県／へいわ創造機構ひろしま (HOPE) (注1) は、核兵器のない平和な世界を実現していくため、各国の核軍縮に関する義務の履行状況を確認するとともに、今後、各国が何をすべきか明らかにし、行動を促す「ひろしまウォッチ」(詳細は、別紙のとおり)の記者発表を行います。

記者発表の様子は、YouTube でライブ配信されますので、皆さま、是非、ご覧ください。

日時：令和6年8月5日(月)15:00~16:00

場所：(公社)日本外国特派員協会 (FCCJ)

(東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル5階)

出席者：○順天堂大学国際教養学研究科特任教授／東京大学名誉教授 藤原 帰一氏

○オーストラリア国立大学特別栄誉教授／元オーストラリア外務大臣

ギャレス・エバンズ氏 (オンラインで参加)

○広島県知事／へいわ創造機構ひろしま (HOPE) 代表

湯崎 英彦 (オンラインで参加)

言語：英語 (通訳無)

次第：○15:00~15:05 知事あいさつ・趣旨説明 (知事)

○15:05~15:20 詳細説明 (藤原教授／エバンズ教授)

○15:20~16:00 質疑応答 (藤原教授／エバンズ教授／知事)

ライブ配信：当日の記者発表の様子は、FCCJ の YouTube チャンネルにてライブ配信されます。

<https://www.youtube.com/c/FCCJchannel/live>

※運営上、オンライン視聴者からの質疑応答はできません。

※動画のダウンロード使用はご遠慮ください。

ひろしまウォッチ全文：記者会見当日 (8月5日(月)) に、国際平和拠点ひろしまホームページに掲載します。

<https://hiroshimaforpeace.com/>



(注1) へいわ創造機構ひろしま ((HOPE) Hiroshima Organization for Global Peace) : 核兵器のない平和な世界の実現を目指し、広島県内の産学官民の様々な団体と広島県が、令和3 (2021) 年4月に共同で設立した団体です。

「ひろしまウォッチ」とは

- ・各国の核軍縮に関する義務の履行状況を確認するとともに、今後、各国が何をすべきかに明らかにし、行動を促す政策提言です。
- ・「ひろしまラウンドテーブル」(注2)の中で、「G7やP5(国連安全保障理事常任理事国)会合、G20及びNPT運用検討会議における宣言で、各国政府が実際に何を約束したか、その約束を守ったか」に注目する「ひろしまウォッチ」を作成することが決定され、初めて作成、発表されるものです。
- ・履行状況の検証対象は、G7サミット共同文書やG20首脳宣言、NPT運用会議最終文書等の核軍縮に関する国際合意です。
- ・「ひろしまウォッチ」を作成するにあたり、データは広島県/へいわ創造機構ひろしま(HOPe)が毎年作成している「ひろしまレポート」(注3)を参照しています。

「ひろしまウォッチ」の名称について

旧ソ連圏の各国政府が、ヘルシンキ協約(1975年)を遵守しているか監視するために設立され、この地域における1980年代後半の民主化の実現に貢献した「ヘルシンキ・ウォッチ(現:ヒューマン・ライツ・ウォッチ)」にならい、各国政府のコミットメントが遵守されているか監視するものとして、「ひろしまウォッチ」と名付けました。

「ひろしまウォッチ」による国際社会への呼びかけについて

被爆地広島からの呼びかけとして、本文書を国連の全加盟国(193か国)に送付し、具体的な行動を行うよう呼びかけます。

(注2) ひろしまラウンドテーブル:

広島県/へいわ創造機構ひろしま(HOPe)は、核軍縮に向けた多国間協議の場として、平成25年(2013)年から、「ひろしまラウンドテーブル」を実施しています。

「ひろしまラウンドテーブル」では、藤原 帰一 東京大学教授(当時)を議長とし、また、ギャレス・エバンズ教授など、日本、米国、中国、韓国、豪州、ロシア等の外務大臣経験者や研究者等を参加者として迎え、昨年度まで、議長声明等の形で、国際社会に様々な提言を行ってきました。

「ひろしまウォッチ」は、これまでの「議長声明等」に替わり、初めて作成、発表されるものです。

「ひろしまラウンドテーブル」の詳細はこちら → <https://hiroshimaforpeace.com/roundtable/>

(注3) ひろしまレポート:

広島県/へいわ創造機構ひろしま(HOPe)が、毎年、核保有国や主要な非核保有国の核軍縮・核不拡散・核セキュリティ分野における各国の行動等を一定の基準に基づいて得点化、分析したものです。

最新の「ひろしまレポート」はこちら →

<https://hiroshimaforpeace.com/hiroshimareport/report-2024/>